

前計画と現状の目標値項目の比較及び推進状況と評価

健康水準指標

| 指標 | 計画策定時の値 | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | 評価 |
|--|--------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------|--|---|
| 壮年期の死亡率 (平成10～14年：人口10万対/年) | 全体・20～39歳 | 81.7(72.8) | 70.0(66.5) | D | 年齢調整死亡率(平成17～21年：人口10万対/年) | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に気をつけている人の割合は目標を達成しているが、性差・年代差がみられるため、ライフステージに応じた取り組みが必要。 ・国保医療費については微減したが、さらなる分析が必要と思われる。 ・65歳以上の介護保険認定率はやや下がり目標を達成することができた。 ・肝がんの標準化死亡比は依然高く、県や他市町との比較では高く、C型肝炎ウイルス検診の陽性率も高いことから引き続き肝疾患対策が必要。(別添資料参照) ・壮年期死亡については、全体として県よりも高い。特に、40～64歳の男性は県との差が大きく策定時よりも率が高くなっており、壮年期の男性への対策が必要。 ※SMRを現状分析すると、男女ともに県数値と比較して高い。(別添資料参照) |
| | 男性・20～39歳 | 131.2(101.7) | 95.7(89.7) | | | |
| | 女性・20～39歳 | 44.9(45.8) | 46.4(44.4) | | | |
| | 全体・40～64歳 | 440.1(422.6) | 418.8(400.7) | | | |
| | 男性・40～64歳 | 626.2(593.5) | 642.1(572.7) | | | |
| | 女性・40～64歳 | 273.9(263.7) | 242.6(239.5) | | | |
| | ()内…県参考値 | | 県に近づける | 男・107.5 女・106.5 | E | |
| 国保加入者(一般被保険者) 1人当たりの医療費(平成18年5月診療分) | 64歳以下 65～74歳 75歳以上 | 16,164円 38,217円 61,624円 | 19,642.5円 34,766.7円 60,598.7円 | B | 平成23年度 愛媛の国保・後期高齢者病類別統計より ※平成23年5月診療分 | |
| 65歳以上で介護保険の認定をされた人の割合(平成18年3月) | 19.5% | 増やさない | 18.1% | B | 平成21年度介護保険事業状況報告より | |
| 自分の健康に気をつけている人の割合(20～69歳) | 67.0% | 10%増 | 81.1% | (A) | 【参考値】 平成24年度・アンケート調査結果より ※問13より、「気をつけている」と「ある程度気をつけている」を合わせた割合 | |
| 肝がんの標準化死亡比(SMR) (平成10～14年) | 男性272.5 女性289.4 | 274.1 | 男性318.4 女性284.0 | C | 平成20～22年 | |

①栄養・食生活

| 指標 | 計画策定時の値 | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|-----------------------------------|---------|-------|-------|-----|---|---|---|
| 朝食を毎日食べない人の割合 (20~69歳) | 男性 36% | 減らす | 20.3% | A | 平成21年度食育に関するアンケート調査より | 病態栄養相談・個別栄養相談 食生活改善推進リーダー研修会 食改伝達講習会支援 レシピ相談・グループ実習用献立作成 保健栄養学級 食育推進計画策定(H21年度) キッズキッチン 食育栄養改善教室 食育推進会議 健康ダイエット教室(食事) 生活習慣病予防教室 双海(食事) 糖尿病予防教室・中山(食事) 女性の健康づくり教室(食事) 脱メタボ予防改善教室 生活習慣病予防教室本庁・中山・双海(食事) 大人の健康づくり教室(講義栄養) 1歳6か月児健康診査(栄養相談) 3歳児健康診査(栄養相談) マザー教室(講義調理実習) にこにこ講座(講義調理実習) 離乳食講座 親子ふれあい教室 初級料理教室 子育て支援センターおやつ作り 佐礼谷保育所食育講演会 レディスセミナー調理実習(双海) 遺伝子組換え農作物に関するコミュニケーション 地産地消推進教室(双海) 幼児料理教室(中山) 地域栄養改善教室(若さを保つ食と健康教室) よい食生活をすすめるための講習会(双海) 骨粗鬆症予防のための普及事業(中山) 寿学級(講話) 牛乳乳製品料理講習会(本庁) 親子で食育教室(双海) ヘルスサポーター21 スポーツ少年と食育 小児生活習慣病予防健診事後指導(双海) 地産地消について学ぶ食育教室 双海通学会館食育指導 厚生保健婦人会ヘルシー野菜おやつ教室 健康づくりヘルスサポーター調理実習 ふれあいサロン(高齢者の生きがいと健康づくり) 下灘学童おやつ教室 デイケア(講義・調理実習) いよし健康づくりの会総会・記念講演 | ・毎日朝食を食べる人の割合は増えているが、主食・主菜・副菜のそろったバランスのとれた食事を毎食する割合は23.6%で、適切な量と質の食事を摂る人の増加を目指すことが必要。 ・地産地消を知っている割合は約7割で、地元で作った安全な食品を食生活に取り入れる取り組みを継続的に行うことが必要。 ・薄味に気をつけている人の割合は増加しておらず、さらなる減塩への取り組みが必要。(※1) ・伊予市食育1・4推進計画「い〜よ!いよしの食育物語」と合わせて推進する。 |
| | 女性 19% | | 12.2% | | | | |
| バランスのよい食事ができている人の割合 (20~69歳) | 55% | 70%以上 | 23.6% | (D) | 【参考値】 平成21年度食育に関するアンケート調査より ※主食・主菜・副菜のそろった食事を「3食」食べている人の割合 2食以上であれば67.5% | | |
| 買い物の際に地産地消を意識している人の割合 (20~69歳) | 76% | 増やす | 71.9% | (C) | 【参考値】 平成21年度食育に関するアンケート調査より ※地産地消を「知っている」の割合(自分で買い物をするであろう20歳以上で再集計) | | |
| 塩味について、薄味にしている人の割合 | 男性 19% | 増やす | 15.0% | (D) | 平成24年度保健センター来所者調べより | スポーツ少年と食育 小児生活習慣病予防健診事後指導(双海) 地産地消について学ぶ食育教室 双海通学会館食育指導 厚生保健婦人会ヘルシー野菜おやつ教室 健康づくりヘルスサポーター調理実習 ふれあいサロン(高齢者の生きがいと健康づくり) 下灘学童おやつ教室 デイケア(講義・調理実習) いよし健康づくりの会総会・記念講演 | |
| | 女性 25% | | 26.0% | | | | |

②身体活動・運動

| 指標 | 計画策定時の値 | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|---|---------|-------|-------|-----|---|--|---|
| 成人肥満者の割合(BMI ≥ 25.0) | 男性 28% | 10%減 | 27.4% | C | 平成24年度・アンケート調査結果より | いよし健康づくりの会ウォーキング大会 いよし健康づくりの会総会・記念講演 健康ダイエット教室(講義・運動実習) 生活習慣病予防教室 双海(講義・運動実習) 健康ゼミナール(ヨガ) 女性の健康づくり教室(講義・運動実習) | ・成人肥満者の割合は、男女差が拡大しており、男性の肥満割合は変化なかった。 ・運動不足を感じている人の割合は74.1%と増えており、運動に関心はあるが実践に結びつかない人がいることから、運動習慣の増加を目指す取り組みが必要。 |
| | 女性 20% | | 15.0% | | | | |
| 特定健診対象者の肥満者(BMI ≥ 25.0) (40~74歳) | — | — | 43.4% | — | 【参考値】平成23年特定健診データより | | |
| 運動不足を感じている人の割合 (20~69歳) | 65% | 50%以下 | 74.1% | D | 平成24年度・アンケート調査結果より | 生活習慣病予防教室 双海(講義・運動実習) 健康ゼミナール(ヨガ) 女性の健康づくり教室(講義・運動実習) | |
| 1回につき15分以上の運動を週1回以上している人の割合 (20~69歳) | 33% | 40%以上 | 31.5% | (C) | 【参考値】 平成24年度・アンケート調査結果より ※1日30分以上の運動を週2日以上している人 | 生活習慣病予防教室本庁・中山・双海(運動実習) 脱メタボ予防改善教室(講義・運動実習) 糖尿病予防教室(中山) 大人の健康づくり教室(運動) デイケア(運動) マザー教室(講義妊婦体操) | |
| 仕事以外に汗をかくような運動をしている人の割合 | 男性 41% | 増やす | 43.2% | (C) | 【参考値】 平成24年度・アンケート調査結果より ※問9より、「している」の割合 | 健康づくりの会を中心とした運動による健康づくりの推進 (ノルディックウォーキング、大会等への参加など) | |
| | 女性 33% | | 34.4% | | | | |

③休養・こころの健康

| 指標 | 計画策定時の値 | | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|----------------------------------|-----------|-----|-------|-------|-----|---|--|--|
| 精神的にくたくたになる人の割合 (いつも・しばしばと回答) | 男性・20～49歳 | 40% | 減らす | 27.8% | A | 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より | 健康まつり会場内ブースでパネル展示やチラシ、啓発グッズなどの配布 いよし健康づくりの会総会・記念講演 健康&福祉まつり講演会 こころとからだの健康フォーラム(講演) 保健師研修会 デイケア 家族懇談会 心の健康づくり教室 生活習慣病予防教室 双海(リラクゼーション) 女性の健康づくり教室(リラクゼーション・アロマ) 健康ゼミナール(睡眠) 普及啓発事業 人材養成講座 相談支援事業 こころの健康相談 自殺対策事業関係者連絡会 訪問指導 健康相談 電話相談 高齢者学級での心の健康教室 思春期のこころの健康教室 「心の健康」パンフレット全戸配布 啓発用ポケットティッシュの配布 マザー教室(講義子育て) 心理相談(母子・心の相談) にこにこ講座(講義コミュニケーション) 思春期教室 | ・精神的にくたくたになる人は全年齢で減少しており、悩みを相談できる人の割合の女性は改善、熟眠感のある人の割合も改善している。 ・伊予市で平成21年度から取り組み強化している地域自殺対策強化事業を継続推進していく必要がある。 |
| | 男性・50～69歳 | 22% | | 11.7% | | | | |
| | 女性・20～49歳 | 34% | | 29.7% | | | | |
| | 女性・50～69歳 | 23% | | 14.5% | | | | |
| 悩みを相談できる相手のいる人の割合 (20～69歳) | 男性 | 65% | 80%以上 | 66.2% | C | 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より | 相談支援事業 こころの健康相談 自殺対策事業関係者連絡会 訪問指導 健康相談 電話相談 高齢者学級での心の健康教室 思春期のこころの健康教室 「心の健康」パンフレット全戸配布 啓発用ポケットティッシュの配布 マザー教室(講義子育て) 心理相談(母子・心の相談) にこにこ講座(講義コミュニケーション) 思春期教室 | |
| | 女性 | 78% | | 84.2% | A | | | |
| 熟眠感がある人の割合 | 男性 | 59% | 増やす | 79.2% | (A) | 【参考値】 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より ※問19より、睡眠での休養が「十分とれている」と「少しはとれている」を合わせた割合 | | |
| | 女性 | 54% | | 82.8% | (A) | | | |

④歯の健康

| 指標 | 計画策定時の値 | | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|------------------------------|---------|-----|-----|-------|----|-------------------------|--|---|
| 毎食後歯磨きをしている人の割合 (20～69歳) | 男性 | 3% | 増やす | 17.6% | A | 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より | 1歳6か月児健康診査(歯科診察) 3歳児健康診査(歯科診察) マザー教室(講義歯科診察) にこにこ講座(歯磨き) 歯科相談 フッ素塗布・フッ素洗口 女性のための健康づくり教室 ハハハ教室 健康ゼミナール(講義) 歯に関するアンケート実施(健診時・歯科診療所) 母と子のよい歯のコンクール(県) 8020元気歯つらつコンクール(県) | ・食後歯みがきの割合、歯科健診受診者の割合、8020運動の認知度全て目標を達成しており、予防活動等の取り組みの成果である。 ・引き続き、ライフステージに応じた歯の健康づくりを進めていくことが必要。 |
| | 女性 | 6% | | 37.9% | A | | | |
| 年1回歯科健診を受ける人の割合 (20～69歳) | 男性 | 22% | 増やす | 24.1% | A | 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より | 健康ゼミナール(講義) 歯に関するアンケート実施(健診時・歯科診療所) 母と子のよい歯のコンクール(県) 8020元気歯つらつコンクール(県) | |
| | 女性 | 19% | | 31.5% | A | | | |
| 8020運動を知っている人の割合 (20～69歳) | 50% | | 増やす | 54.2% | A | 平成24年度健康に関するアンケート調査結果より | | |

⑤たばこ

| 指標 | 計画策定時の値 | | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|------------------------------|-----------|-----|------|-------|----|--------------------|--|---|
| 成人の喫煙率 | 男性・20～49歳 | 64% | 減らす | 35.4% | A | 平成24年度・アンケート調査結果より | 健康相談(個別指導) 特定保健指導(禁煙指導) 健康&福祉まつりにて禁煙啓発ブース設置 母子健康手帳の交付 | ・喫煙率は、50～69歳の女性を除いてほぼ目標を達成した。禁煙の関心度の割合は増えている。 |
| | 男性・50～69歳 | 41% | | 29.2% | A | | | |
| | 女性・20～49歳 | 11% | | 5.5% | A | | | |
| | 女性・50～69歳 | 3% | | 5.8% | D | | | |
| 禁煙の関心度、禁煙したい人の割合 (20～69歳) | 男性 | 67% | 100% | 70.6% | B | 平成24年度・アンケート調査結果より | | |
| | 女性 | 69% | | 94.4% | A | | | |

⑥アルコール

| 指標 | 計画策定時の値 | | 目標 | 現状 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|-------------------------------------|---------|-----|--------|-------|-----|---|--|---|
| 週5日以上飲酒する人の割合 (飲酒者中) (20～69歳) | 男性 | 66% | 男性10%減 | 43.9% | (A) | 【参考値】 平成24年度・アンケート調査結果より ※問22より、「毎日」と「週4～5日」を合わせた割合 | 大人の健康づくり教室(講義) 健康相談(個別指導) 特定保健指導(適正飲酒指導) 母子健康手帳交付 | ・週5日以上飲酒者は男女とも低下し、目標を達成した。飲酒者中の3合以上飲む人の割合は約1割程度で、生活習慣病のリスクを高める量飲酒する者への取り組みの推進が必要。 |
| | 女性 | 16% | | 10.1% | (A) | | | |
| 1日3合以上飲む人の割合 (飲酒者中)(20～69歳) | 男性 | 10% | 減らす | 13.5% | C | 平成24年度・アンケート調査結果より | 食品衛生協会等地域の団体や関係機関等の会合などで、休肝日のすすめや、多飲酒による生活習慣病等の影響などについて周知 | |
| | 女性 | 0% | | 7.1% | D | | | |

⑦健康チェック

| 指標 | 計画策定時の値 | 目標 | H24調査結果値 | 結果 | 備考 | これまでの取り組み | 評価 |
|----------------------------|----------|------|----------|----|---------------------|---|--|
| 週1回以上体重測定をしている人の割合(20~69歳) | 男性 36% | 10%増 | 49.4% | A | 平成24年度保健センター来所者調べより | 基本健康診査。生活機能評価、特定健康診査、特定保健指導 BC肝炎ウイルス検診 がん検診【集団】 (胃・肺X線・肺CR・肺喀痰・肺CT・大腸・子宮頸・乳視触診・乳マンモグラフィ・前立腺) がん検診【クーポン個別】(子宮頸・乳・大腸) 超音波検診、骨粗鬆症検診、成人歯科検診 健康教育(健診受診勧奨・乳がん自己検診・結果報告会集団指導) 女性の健康づくり教室 健康ゼミナール(インフルエンザ) 大人の健康づくり教室(インフル・女性の健康) 脱!メタボ予防&改善教室 健康ダイエット教室(講義メタボ) 生活習慣病予防教室(双海) 糖尿病予防教室(中山) 生活習慣病予防教室(健康づくりの会各支部) 市民健康講座 健康づくり活動講座 健康手帳交付 健康相談(結果報告会・随時) 成人訪問指導 電話相談 育児相談(血圧測定) 健診受診勧奨(ハガキ送付・防災無線・広報周知・チラシ回覧) 高齢者インフルエンザ予防接種 乳幼児予防接種 いよし健康づくりの会総会・記念講演 肝臓病教室・肝疾患相談 伊予市特定健康診査等実施計画策定(平成20年) | ・体重測定をしている人の割合は増えている。血圧値については知らない人が増えていた。 ・健診受診率については平成20年度より特定健診に移行のため参考値 ・平成20年度に策定した伊予市特定健康診査等実施計画に基づき、事業を実施しているところである。 |
| | 女性 50% | | 61.8% | A | | | |
| 自分の血圧値を知っている人の割合(20~69歳) | 男性 80% | 増やす | 66.3% | D | 平成24年度保健センター来所者調べより | 健康相談(結果報告会・随時) 成人訪問指導 電話相談 育児相談(血圧測定) 健診受診勧奨(ハガキ送付・防災無線・広報周知・チラシ回覧) 高齢者インフルエンザ予防接種 乳幼児予防接種 いよし健康づくりの会総会・記念講演 肝臓病教室・肝疾患相談 伊予市特定健康診査等実施計画策定(平成20年) | |
| | 女性 87% | | 63.0% | D | | | |
| 基本健康診査受診率 | 男性 32.4% | 増やす | 18.9% | E | 【参考】平成20年特定健診データより | | |
| | 女性 39.0% | | 24.7% | | | | |

※1…集計途中のため参考値
()内結果は参考値による評価